

## トヨタ自動車、Backlog導入で業務効率の更なる「カイゼン」を実現！独自ダッシュボードでプロジェクト・ステータス別の稼働時間を可視化

[株式会社ヌーラボ](#)（本社：福岡県福岡市、以下ヌーラボ）が提供する「[Backlog](#)」は、世界の自動車業界をリードするトヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、以下トヨタ自動車）のTCシャシー設計部に導入され、業務効率とデジタル化の改善に貢献\*しています。またヌーラボ公式パートナーである株式会社オープントーン（本社：東京都千代田区、以下オープントーン）と連携して独自にカスタマイズしたダッシュボードを構築し、メンバー全員のプロジェクト別・ステータス別の稼働時間集計をグラフ化、トヨタ生産方式の「カイゼン」の取り組み効率化を実現\*しました。

\*取材時の担当者様の発言によるものです。



※以下、事例取材記事「[トヨタ生産方式の「カイゼン」とBacklogのコラボレーションで業務効率を向上。ヌーラボ公式パートナーとの連携で業務合計時間のグラフ化も実現](#)」よりコメントを抜粋・編集・再構成。

### ■ Backlogを導入した背景

トヨタ自動車株式会社のTCシャシー設計部ではステアリング、サスペンション、ブレーキなどの設計業務を行っています。2021年頃の労使協議において業務のデジタル化を推進する方針が示され、それを受けてDX推進グループが部内の有志メンバーによって発足しました。

日々行う業務管理のさらなる効率化には、ITツールの導入が欠かせないと感じていました。当初はエクセルなどのツールを使用していましたが、部内の情報共有や知識の蓄積を強化する必要がありました。

当部署にはハードウェア設計者が多く、ITスキルを向上させるため積極的に学んでいる状況です。そうした背景から、シンプルで誰でも使いやすいという理由でBacklogを導入することを決定しました。2022年12月に無料トライアルを開始し、現在では部署全体でBacklogを活用しています。

## ■「Backlog」を活用した効果

### 1.部署全体の活動と個人の業務状況を一目で把握

Backlogの導入で、部門全体の活動と個人の業務状況が一目で把握できるようになりました。日々の業務では「部方針のタスク管理」、「個人のタスク管理」、「回覧物の一元管理」に活用しています。

#### 部方針のタスク管理

部として1年間推進するタスクを一元管理し、125名の部員が部方針に基づく個々のタスク進捗を部員全体で共有できるようにしました。課題の進捗ステータスを表す「状態」にはトヨタ生産方式の「アンドンを引く」という考え方に基づき、「課題発生」「停滞中」も加えることで、何か問題が発生した際はすぐに状況を共有でき、相談しやすい仕組みを整えました。

#### 個人のタスク管理

タスクを数時間単位の粒度で課題として起票し、業務の流れやボリュームをガントチャートで可視化して、チーム内で共有しています。エクセルでの管理では並び替えに手間がかかり、先に手をつけるべきタスクが埋もれてしまい、見落としにも繋がっていました。

#### 回覧物の一元管理

コロナ禍で承認回覧が紙書類から電子書類に変わりましたが、回覧手法がメールやMicrosoft Teamsチャットなどコミュニケーション手段が様々だったので、Backlogのボード機能を活用して一元管理することにしました。メールやチャットの場合、回覧物の見落としや停滞状況が不明瞭な事が課題でしたが、Backlog導入後は、回覧状況がひと目で分かるようになりました。

### 2.Backlogとパートナーソリューションを連携し、詳細な工数の数値化・グラフ化を実現

トヨタ自動車はモビリティ・カンパニーへの変革を方針として掲げ、全社的に新しい部品や機能を扱う仕事が増えています。仕事の範囲が広がる中で、業務量の平準化や業務スキルの伝承を実現するためにも、業務をひと固まりの単位ではなく、細かい作業に分解して工数や所要時間を可視化したいと考えていました。

そこで、ヌーラボ公式パートナーであるオープントーン社の「Backlog助っ人サービス」を紹介されたことで導入を検討、Backlog上のデータから、業務の実態を数値化・グラフ化の実装に至りました。導入後、部員からは「ほかのメンバーとの共有が容易で業務平準化に役立ちそう」、「プロジェクトやステータスごとの稼働時間が見られるのが便利」といった反応がありました。



## ■ TCシャシー設計部 傍嶋様、城戸様、久保様のコメント



Backlogを見れば、部内全体の業務進捗やメンバーの状況がすぐに把握できるので、今後はさらに効率の良いタスク配分や知見の蓄積に活かしていきたいと考えています。Backlogの情報やデータを参照することで担当者本人の納得感も高まり、社員のモチベーション醸成や部署全体の活性化にもつながると期待しています。

Backlogは、業務の効率化はもちろん、組織運営自体も助けてくれるツールだと感じています。トヨタ自動車様が大切にしている「カイゼン」やトヨタ生産方式とBacklogは非常に親和性が高いので、これからも活用の幅を広げていきたいと思っています。

今後、労働人口が減少するにつれ、働く“チーム”を構成するメンバーや雇用形態は、どんどん多様化するとされています。ヌーラボは、このような環境下において、所属や立場が異なる人たちでチームを形成する場面が増え、共通の目標に向かって作業を効率的に進めるための、「チームワークマネジメント」が必要になると考えています。

今後も、多種多様な職種・業種、規模のチームで働くお客さまが、活用ニーズや環境に合わせた使い方を実現できるよう、Backlogを初めとしたヌーラボサービスの改善を行っていく予定です。

## ■「“進んでるね！”で、チームは進む。」プロジェクト管理ツール「[Backlog](#)」について



「Backlog」は、3つの強みを有するプロジェクト管理・タスク管理ツールです。

1. 業界・業種を問わずお使いいただける親しみやすいデザインと操作性
2. タスク管理のみならず、Wiki、Git、ガントチャートなどの豊富な機能がオールインワン
3. 人数無制限のため、価格を気にせずチームメンバーを招待可能

2005年のリリース以降、多くのチームのコラボレーション促進に貢献してきました。現在、クラウド版 / オンプレミス版の2種類を提供し、世界で130万人以上のユーザーにお使いいただいています。

導入事例は「[導入事例「Backlog」の記事一覧](#)」からご確認ください。

## ■ヌーラボが提供するサービスについて



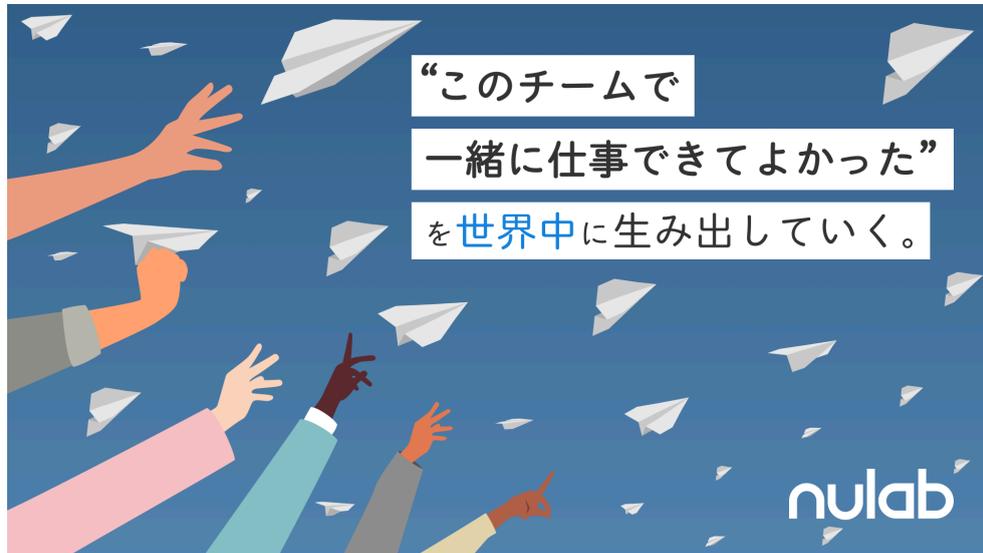
ヌーラボは、プロジェクト管理ツール「Backlog」、オンライン作図ツール「Cacoo」、組織の情報セキュリティ・ガバナンスを高めるための「Nulab Pass」を開発・提供しています。

・プロジェクト管理ツール「Backlog」: <https://backlog.com>

・オンライン作図ツール「Cacoo」:<https://cacoo.com>

・組織の情報セキュリティ・ガバナンスを高める「Nulab Pass」:<https://nulab.com/ja/nulabpass>

## ■ 株式会社ヌーラボについて



本社	福岡県福岡市中央区大名一丁目8-6 HCC BLD.
東京事務所	東京都千代田区神田三崎町三丁目6-14 THE GATE 水道橋 7F
京都事務所	京都府京都市下京区突抜二丁目360
代表者	橋本正徳
ウェブサイト	<a href="https://nulab.com">https://nulab.com</a> <a href="https://nulab.com/ja/about/careers/">https://nulab.com/ja/about/careers/</a> (採用ページ)

## ■ この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社ヌーラボ 広報担当 前田(マエダ)

TEL: 050-3616-1015(担当直通) E-mail: [pr@nulab.com](mailto:pr@nulab.com)

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。